

美瑛町教育振興基本計画の見直しに対する町民コメント実施結果について

美瑛町教育振興基本計画の見直しに対して町民の皆さまからご意見を募集した結果について、ご意見の概要とご意見に対する教育委員会の考え方は次のとおりです。
貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1. 町民コメント実施結果

案件名	美瑛町教育振興基本計画について
実施期間	令和7年2月21日(金)～3月23日(日)
案の公表方法	1. 指定する場所での閲覧 (役場1階町民コーナー、町民センター、図書館、ビ・エール) 2. 町ホームページへの掲載
ご意見の提出方法	郵送、ファックス、電子メール、LINE回答フォーム、ご意見箱への投函
結果の公表方法	町ホームページ
ご意見等の提出者数、件数	提出者:8人、9件 【提出方法内訳】 郵送:0人、ファックス:0人、電子メール2人、 LINE回答フォーム:5人、ご意見箱への投函: 0人、来庁者:1人

※頂戴したご意見については、原文のまま掲載しています。

2. ご意見の概要とご意見に対する考え方

年代	40代
ご意見	<p>計画自体は良き計画。 資料の残念な所はどこが変更追記されたのか？わかりにくいと感じたところ。 生涯学習、学校教育、社会教育など言葉遊びに近いが意味は深いので周知を願いたい。</p>
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 教育基本計画の重要性について、さらに多くの町民の皆さまに理解していただけるよう、ホームページ等で公開し、計画の内容や意義の周知に努めてまいります。</p>

年代	60代
ご意見	<p>計画を拝読して感じた事を箇条書きで伝えます ○通学の安全性、施設校舎の快適性、利便性等など保護者視点の対策・計画を盛り込んだ方が良いと思います ○小学校・中学校・高等学校何れかを一体化した施設や学校教育方針と安定した居住生活案を計画に盛り込む 以上</p>
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 通学の安全性については、学校や保護者、関係機関で組織する美瑛町通学路安全推進会議において、危険個所の確認や対策について定期的に情報共有を図り、通学路の安全確保に取り組んでいるところです。 校舎の快適性や利便性については、施設の長寿命化を目指した計画的な改修により、より良い学習環境の提供に努めて参ります。 また、小・中学校を一体化した「義務教育学校」などの考え方については、現時点では計画していないことから、計画には記載しておりませんが、つながりのある教育を目指し、校種間連携の推進に努めてまいります。</p>

年代	40代
ご意見	<p>小学校の給食についてです。</p> <p>先日、栄養士さんとの面談で、給食に冷凍食品が多く使われているという事実を知りました。</p> <p>給食は手作りしてもらっていると思っていたので、びっくりしました。</p> <p>給食費の無料化についての記載はあったのですが、給食の内容については計画の中で全く触れられていません。</p> <p>子供の健康や成長のため、今後は給食の内容についても考えていただきたいです。</p> <p>冷凍食品が使われているということ、知らなかったという保護者も多いと思います。</p> <p>手作りは大変だと思いますが、美味しく安全な給食を提供していただきたいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>本町の学校給食は、自校給食方式により各校で調理・提供しております。これにより、できたての温かい食事を子どもたちに届けることができるほか、各学校の状況に応じた柔軟な対応が可能となっております。</p> <p>また、本町では地元産の新鮮な食材を積極的に活用する「地産地消」を推進し、管理栄養士が子どもたちの成長に必要な栄養バランスを考慮した献立を立てております。</p> <p>しかしながら、すべての食材を安定的に確保することが難しい場合や衛生面の観点から生肉等ではなく調理済みの食材を使用する場合がありますが、食材の選定や調理方法には細心の注意を払い、安心・安全な給食の提供に全力で努めておりますので、その旨を計画に記載させていただきました。</p> <p>今後も、子どもたちの健やかな成長を支えるため、保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、より良い給食提供に向けて努力してまいります。</p>

年代	40代
ご意見	小中高校の生徒に、18歳ならないでも子供は作れる。式は挙げれる。入籍は18歳から。と、ハッキリ伝えてほしい。少子化が心配。個人の自由が心配。
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>18歳を迎え様々な法的な責任が生じることから、社会の一員としての責任感及び自己管理能力を育む教育がますます重要となっております。また、結婚や出産に関しては、心身の成熟や社会的責任も重要な要素であり、学校教育においても性に関する知識や責任を持った行動について学ぶことが重要であると考えていることから、その旨を計画に追記させていただきました。</p> <p>今後、包括的性教育の推進を目指し、性に関する正しい知識や価値観を身に付け、児童生徒が健全な人生を送るための取組をさらに強化してまいります。</p>

年代	40代
ご意見	<p>「第3章第1節教育の基本方針1 目指すまちづくりの方向」は、町全体の教育の基本方針を提示する部分だと思います。</p> <p>ここが「子どもの個性を育み、全力で応援するまち」では、町の教育の基本方針が「子ども」のみに限定され、成人や高齢者など幅広い年齢層に対する社会教育や生涯学習の視点がない基本方針となってしまうと思います。</p> <p>美瑛町まちづくり総合計画の共有ビジョンから引用されているかと思いますが、教育全体の基本方針として引用するのであれば、「誰もが自らの可能性を伸ばせるまち」の方が良いかと思います。</p>
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>教育振興基本計画は、子どもだけではなく成人や高齢者を含むすべての町民が対象となる計画であることを再認識しております。</p> <p>このことから、美瑛町まちづくり総合計画を準拠し、「第3章 美瑛町の教育が目指すもの」の標記を一部見直しさせていただきました。</p> <p>本計画を基に、学校、家庭、地域社会が連携して、より良い美瑛町の未来を築くための施策を着実に推進してまいります。</p>

年代	40代
ご意見	冒頭で、成人年齢の引き下げについて触れられているが、具体的な政策が見受けられませんでした。SNS 等のトラブルと同様に、現代社会を生きる子どもたちに必要な教育だと思うので、家庭だけでなく、教育現場でも対応頂きたい。
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>成人年齢の引き下げに伴い、社会の一員としての責任感及び自己管理能力を育む教育がますます重要となっております。これらは現代社会を生きる上で不可欠な要素であり、教育委員会としまして様々な取組を通して対応していくことが必要だと考えていることから、その旨を計画に追記させていただきました。</p> <p>引き続き、ご意見を反映させ、より充実した教育環境の実現に努めてまいります。</p>

年代	40代
意見	<p>・まちづくり総合計画と同様、「計画」と名前が付いているが総花的内容で理念だけで具体性がなく、善し悪しの判断ができない。また第2次計画の成果と課題が提示されていないので、改善されているのかも判断できない。</p> <p>・デジタル化、DX、AI、ロボット技術への対応、デジタルリテラシー等の言葉はありますが(p2,4,19)、「科学」という言葉はこの計画のなかに一度も登場しません。新しい社会を作っているのはそれら「技術」かもしれませんが、それを可能にしているのは「科学」です。教育委員会としては科学的な考え方など科学リテラシーについてどのように考えていますか。どうして科学について言及がないのですか。</p> <p>・と言うのも、このグローバルな時代に本当に教育を通じてリーダーを育てるのであれば(p2)、科学的な考え方はどうしても必要になります。英語を話せて(p10)人間関係の調整が上手くても(p12)、どちらに進むかを判断する時に必要なのは科学的な考え方です。</p> <p>・加えて、美瑛はジオパークの拠点であり(p31)、天文台もあり(p4,26)、地方ならではの自然から学ぶため(p4)には科学の視点は非常に重要です。</p> <p>・同じ内容になってしまうかもしれませんが、「好奇心」という言葉も見当たりませんでした。「学ぶ」という活動をもっとも活発にしてくれるのが好奇心だと個人的には思っていて、生涯学習(p4,6,8,20,21,29)という面からも好奇心の醸成は教育の基本となるものだと思います。なぜ好奇心という言葉が出てこないのか教育委員会の考え方を教えてください。</p> <p>・へき地に関して(p13)、へき地の良さばかりが記載されていますが、へき地だからの問題点にも目を向けるべきだと思います。その一つが集団行動の機会の少なさです。中学校までの9年間をひとまとまりと考えているのであれば(p10,14)、もっと頻繁に学校間の交流を持っても良いのではないのでしょうか。特色ある教育活動を推進するのは良いのですが、へき地だけ切り離されてしまうようになるのは避けて欲しいです。</p>

教育委員会の考え方

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

本計画は5年間における教育施策全体の基本的な方向性や理念を示すものであり、個別具体的な取組については記載しておりません。そのため、具体的な施策や事業の実施につきましては、現状や課題を踏まえ、毎年度策定する教育行政執行方針等の中でお示ししてまいりますので、ご理解いただければと思います。

科学的リテラシーや好奇心の重要性については、ご意見を真摯に受け止め、各事業の計画段階で考慮し、本町の自然環境や天文台など地域資源を活用した教育活動を通じて強化してまいります。

また、へき地教育においては、一人ひとりに対してきめ細やかな指導を行う個別指導の充実や地域に根ざした独自の学びを実現できる点が大きな特徴です。一方で、ご指摘のとおり集団活動の機会が限られることは課題であると認識しております。そのため、限られた教育時数の中でICTの活用なども取り入れながら、より効果的な学びの機会を確保できるよう工夫・改善に努めたいと考えており、その旨を計画に追記させていただきました。

引き続き、ご意見を反映させ、より充実した教育環境の実現に努めてまいります。

年代	40代
ご意見	<p>最近読売新聞に「再考 デジタル教育」という特集が組まれています。その中に、教育先進国であるフィンランドでは紙の教科書が復活したという内容がありました。デジタル教科書の影響による成績低下や心身不調が顕在化という理由のようです。</p> <p>実際自分も、子供が Chromebook で勉強していて明らかに紙と鉛筆の方が速く楽だろうものをディスプレイをタッチしながら四苦八苦していたのを見たことがあります。他の親からも同様の意見を聞いています。</p> <p>また、子供にデジタル教科書の良いところを聞いた時に、「算数で立体図形を動かせるので下からとか後ろとかどう見えるかすぐ分かる」というのがありました。確かに子供からしたらゲームに近い感覚で楽しいのでしょうか、一方で子供の想像力を奪ってしまっているという危機感を持ちました。</p> <p>ICT 教育の充実(p10)とあります。日本では ICT の効果と影響がどのように 検証された結果として、「充実」を重点項目に挙げたのかを教えてくださいませんか</p>
教育委員会の考え方	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。デジタル技術の教育効果には多くの利点がありますが、ご指摘のとおり、従来の教材や実体験の重要性も十分に理解しています。</p> <p>ICT教育の充実については、学習指導要領や北海道教育推進計画など、上位計画の方針を踏まえた上で、本町においても推進すべき重点事項として位置付けておりますが、ICTの活用だけに偏ることなく、従来の学習方法とICTを効果的に組み合わせながら、効果的な教育の実現に努めてまいります。</p>

年代	40代
「意見	<p>美瑛町で具体的に何をしてきたのかもわかりませんし、今後何をしたいかも抽象的すぎてわかりません。SDGS の推進ならば、科学的根拠が既に無くなっている点多々あり、国の方針に従うのは危険だと思います。美瑛町の教育方針に関してこの様に書かれていました「社会のリーダーとなる人材を育成」と。この為には、社会的問題点に気付く能力、多様な意見を聞き議論し最善を導く能力等が必要になります。それには何が重要かといえば、脳の力を活発にしなければなりません。</p> <p>現在の子どもはスマホやネットに依存し、授業でも電子機器の多用で、脳の発達にマイナスになっているとも指摘されています(添付資料)。東北大学の川島隆太教授によると「5～18 歳の児童・生徒 224 人を対象に 3 年間、脳の発達を MRI で調べた結果、毎日スマホを使う子は脳の発達が止まっていることがわかった」といいます。国の「ICT の活用にあたっての児童生徒の目の健康などに関する配慮事項」として、児童生徒のコンピュータ使用によって懸念される影響とその配慮事項が掲載されていますが、「心身への影響」は、「姿勢」「過度の使用」「目を休める」「画面の角度や明るさ」「睡眠」「メラトニン」「健康面に留意」「健康に関する意識を醸成」「ブルーライト」などを確認することができますが視野の発達やコンピュータ機器の持つ依存性などの中長期的な心身の影響については言及されていません。子ども時代に必要な脳の発達を置き去りにし、AI を教育に取り入れるのは脳の萎縮を招きかねず非常に危険です。脳医学の観点からも子どもに必要な教育は、五感・第六感を鍛える事です。様々な物に触れ、触覚、味覚、嗅覚などすべての器官をフル活用し、人間本来の感覚を研ぎ澄ませることが重要です。</p> <p>これまでの数年間、政府やマスコミが言って来た事は、大きく間違っていました。誰一人取り残さない健康に関しては、主にワクチン政策が挙げられます。当初から危険性が指摘されてきましたが、国も美瑛町もワクチン接種を推進させ、結果国民の 8 割が接種してしまったため、今後の対策が重要になります。ワクチンは病気に感染しないようにとの事でしたが、感染予防効果が無い事は既に知られていて、ワクチン接種の増加と共に ADHD などの疾患を招く事も確認されていま</p>

す。新型コロナパンデミックの初期段階から、接種者の全ての人に心筋炎を確認していました(慶應義塾大学)。社会のリーダーの養成を目指す教育ならば、あらゆる物事に対する疑問を抱き、問題点を洗い出し、解決策を練る能力が必要となるでしょう。大人・教師・社会・政府の言う事を鵜呑みにするのではなく、自ら考え、行動し、解決する事が必要です。その面で SDGS の掲げる誰一人取り残さない健康や貧困問題は、問題となる事ばかりです。

地球温暖化も人為的二酸化炭素の排出が原因ではない事が証明されました(添付資料)。ところが現在も役場も教育現場でも、ゼロカーボン政策を推し進め、無駄な税金と時間を使い続け、誤った情報を子どもたちにも提供し続けています。もし二酸化炭素の上昇が地球温暖化を加速させ、人類と地球に多大なダメージを与えると言うのなら、過去の地球の二酸化炭素濃度を調べればすぐ答えがわかるでしょう。現在は 400ppm 程度の CO2 濃度であり、何も対策をしなければ 2100 年に 800~1500ppm になると予想されています(IPCC)。ところが過去の二酸化炭素濃度を調べると、生物が非常に豊かだったジュラ紀には、2000ppm を超える二酸化炭素濃度でした。最新の研究では、地球温暖化は二酸化炭素が上昇したからではなく、気温上昇したから二酸化炭素が上昇した事が多数の論文で発表されています。IPCC の評価はごく短期間のデータであり、太陽活動の影響を重視しておらず、データの信頼性がまるでありません(添付資料)。これら SDGS を推進し子どもたちに教育する事が、子どもたちの為になるとお考えでしょうか？。誤情報に気を付けろと連日マスコミが報道しています。そのマスコミの発表や政府の主張が間違っていたのですから、教育現場としてそれを正す事、そして真実を見抜く力を育てる事こそ、美瑛町の教育に必要ではありませんか？

「食育」に関しても同じです。「残さず食べる」事ばかりに気を取られ、食べ物のありがたさや機能、育てる苦労などが多く語られる事も無く、本当に残さず食べる事が重要かも疑問でしかありません。日本人は牛乳を消化できない人が多い事も知られています。また牛乳を摂取する事で身体からカルシウムが排出されていしまう事も医学的にも言われています。個人個人で身体に合った食事を、暴飲暴食ではなく、適量を適切な時間をかけて摂取する教育が重要ではないでしょうか？そして食育として子どもたちに健康になってもらいたいのであれば、無農薬の食材を使うのは当たり前でしょう。農薬が様々な病気を発症させることは、既に知られています。例え美瑛産の野菜であっても、農薬を

多用した食材を学校給食に出す事は、多くの児童が長期的に病気を発生させる危険性を高めるものです。農家と役場が一体となり、地産地消をすすめ、農家の生活も保障しつつ児童の安全も守る、それが教育委員会に求められてる事ではありませんか？

LGBT もオリンピックでも理解された通り、男女平等ではなくなるのです。肉体的男性は、肉体的女性より、圧倒的に力の差があるのです。そして学校でいれば更衣室などで、性犯罪が起こりかねない政策です。性の問題は、平等を押し付けるのではなく、男女の違いを理解し、また性同一性障害は精神疾患であることを認めなければなりません。外国との交流支援も危険な面をはらんでいて、現在のヨーロッパではイスラムに国が滅ぼされかけています。

日本の教育は、日本語と日本文化を大事にしなければなりません。日本という国が存続する為には、若者がそれを継承しなければならないからです。外国人との交流では、日本文化を知っている事も求められます。日本語と日本文化の教育こそが、世界に羽ばたける社会のリーダーの養成に繋がる事を、再確認しなければなりません。日本語もろくに話せない者に、いくら外国語を教えた所で単語の変換すら満足に出来ないでしょう。

貧困も教育格差を産むと言われ続けているにもかかわらず、美瑛では町外の高校進学者と美瑛高進学者との格差を解消していません。将来を担う人材育成にも拘らず、なぜこのような格差を生じさせるのでしょうか？町外の高校に通う者であっても、将来の美瑛町を背負って立つ人材は育ちます。そうした者への支援が、まるでなっていない。これまでの美瑛町の教育に問題点が多々あるからこのような計画が必要になるのでしょうかけれど、美瑛町の考える問題点と解決策を具体的に提示してもらわない限り、これまでのアンケート同様に当該アンケートも無駄になりかねません。添付した資料をご覧いただいた上で、これまで行ってきた政策に問題点が多い事をご確認いただき、今後の美瑛の教育に生かしていただきたいと思えます。

美瑛町が推し進める政策・IPCC や SDGS の根拠を公の場で公表し、誰もが理解し納得できる方向に進んでいただきたいと願っています。現在の推進の仕方は、国に言われた事をただやっているだけしか思えません。添付資料を覆す資料なり論文なりがあれば、それも合わせてご回答ください。

教育委員会の考え方

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
未来の社会で活躍できる子どもたちを育むためには、多様な視点を持ち、問題を解決できる能力を養うことが大変重要だと考えています。ICT教育に過度に依存することなく、実体験も取り入れた学習を推進するとともに、社会的課題に対し自らが理解し判断できる力を育むことができるよう、今後も務めてまいります。